

第548回 テレビ岩手放送番組審議会

1. 日 時 2019年1月15日(火) 午後0時45分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 8名

委員長	三浦 茂樹
副委員長	恒川 かおり
委員	大橋 綾子
委員	佐藤 健志
委員	高橋 司
委員	渡辺 理雄
委員	前田 千香子
委員	石田 亨

欠席委員 1名

委員	加藤 千晶
----	-------

社側出席者	檜崎 憲二 (取締役会長)
	青山 尚之 (専務取締役 兼 営業局長)
	柴柳 二郎 (報道制作局長)

事務局	畑山 篤 (取締役編成局長 兼 放送番組審議会事務局長)
	平山 亜希子 (編成局編成部副部長)

4. 議 題

1. 1/05 (土) 10:30～11:25 とびだせ！ I W A T E
～岩手発デジタルヘルスケア産業～
2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・視聴者からのご意見

6. 意 見

委 員 側 意 見

- デジタルヘルスケア産業というキーワードで、岩手にこんな会社があり、企業が今後の生き残りをかけて異分野に飛び込んでいっているのだという状況の一端がよくわかる番組だった。
- 岩手の中小企業で、全国や世界に通用する最先端のものを作ったり販売している事も凄いいし、技術と仕組みを考える事で人口減少や高齢化など社会課題を解決していくという事を考えて全世界に発信していきたいという事にも興味深かった。
- 産学官、金融と連携しながら、身近な健康問題を解決するような技術を開発していて素晴らしく、技術というのは希望だと感じた。
- 制作会社とテレビ岩手の2社の連名で「制作・著作」となっていたが、2社が共同で作ったのだな、と思い興味を持って拝見した。
- タイトルが難しい。「デジタルヘルス産業」と聞いて、番組を見ようと思うかどうか。
- 一つ一つが非常に興味深かったが、盛り沢山だったのでもっと深めて知りたかった。特に収録現場にいらした3人の方々に、もっと話を聞きたかった。
- 難しい事をキャプションを付ける事で補って工夫をしたのだろうと思うが、キャプションがもの凄く盛り沢山の読みきれなかったり、理解しきれなかった。
- ドラッグストアが展開するセルフ健康チェックというのは2018年の4月から始まっているという理解だが、1年経ってはいないがどのくらい(情報が)集まっているのか、という事を知りたかった。
- その会社でしか作れない技術、製品だという事はよくわかったが、ピペットというのは何故小型軽量でないといけないのか、という事を社長自身に説明してもらいたかった。
- 「制度の問題がある」ということだったが何が問題点なのかわからなかった。
- 岩手県にこのような最先端企業があるという事を紹介してもらい、新年にぴったりで、勇気や元気をもたらしたという印象を持った。また、データや表の見せ方、字幕など様々な工夫がされていた。

- 見ている間にデジタルヘルスケア産業の範疇がよくわからなくなってしまった。生命科学全般に関する機器全般という物も含めて今回はデジタルヘルスケアとして紹介しているんだという事があとでわかったが、実はライフサイエンス・インストルメンツの技術も土台になり、凄く大事なので、タイトルの付け方の難しさというのがあった。
- ニーズやリクエストに合わせた開発を技術者の方々が一生懸命やっているのが凄くわかる番組でその点は素晴らしいと思う。
- 普段からピペットを使っているが、手で75グラム、涙一粒20マイクロリッターとするとその200分の1の量を正確に取れ、補正する仕組みを含めて出来るというのは凄いのだが、一般の視聴者はその凄さはわからなかったと思う。手動で出来るのに簡便でそれだけ正確という所が伝わっていない。作り手側の工夫の余地がある。
- ソフト開発等は首都圏だと多重下請け構造の中で作って行かなくてはならず地方だからこそ産学官の連携もスムーズということで、地方ならではのメリットもあるという事に気づかされ、もう少し詳しく知りたいと感じた。
- 医療介護で非常に身近なテーマ、技術革新を取り上げる場合には専門的になりがちだが、マーケティングの視点で映像で見せていただいた事で、見ている側にとって身近でわかりやすい番組になった。
- ピペットの例で、委員のお話から、使っている側のお話が非常に説得力があり、使っているユーザー側の意見を入れると見ている人は非常に分かりやすいのではないかと感じた。

局側意見

- タイトルの「岩手発デジタルヘルスケア産業」の「デジタルヘルスケア」という言葉は多分5年すれば当たり前の言葉になっているだろうという意識がありそのままタイトルに付けた。馴染んでいない言葉なので、番組の冒頭でそれを説明した。
- ピペットに関して、医療関係の場合、完全に示す証拠がないと簡単に説明する文言が使えないため、わかりやすくしづらかった面がある。
- 詰め込み過ぎだろうと感じたが、情報量を多くするか、情報量を減らしてより深くするかと言う選択で、今回は情報量を増やした。
- 紹介した企業の1つのコア技術は、光を当てることによってそこから色の変化とかを見ると言うのがコアに繋がる部分だが、大変技術力が高すぎて一言でうまく言えなかった部分がある。
- 薬王堂さんのデータがどれくらい集まっているのかに関しては、具体的には教えてもらえなかった。被験者の了解を得て、プライバシーは守った上で、データを活用していくのがようやく立ち上がった、動き始めたレベルと受け止めていただきたい。
- ピペッティだとか作っているところも見なかったという点で、実際に作っている様子

も取材しているが撮影NGの部分が有ったりして、作成の工程をOAで紹介するというのは今回の趣旨とも違うのでしなかった。

- 岩手を舞台にこれだけ世界で戦える、高校生に限らず大学生ももちろんそうだが、岩手からこんなに先端の研究をし、物を作りチャレンジしやれるんだ、という事を少しでも皆さんに知っていただきたいという想いを込めて制作した。
- ハサミの話は今回のテーマとは若干違うというのは分かっていたが、岩手の物作りがこれだけイギリスで需要があって、行列を作って待っている所を是非紹介したいので入れた、という経緯があった。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ①自社放送 1月22日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>